

(一社)茨城県環境保全協会 協会だより

平成30年度
第7号(通巻第52号)
平成30年10月1日発行
一般社団法人茨城県環境保全協会
発行担当 広報委員会
水戸市平須町1825-192 平須ビル202
TEL 029-303-6007
FAX 029-303-6008
Mail info@kankyo-ibaraki.com

北海道胆振東部地震被災地へ義援金



2018年(平成30年)9月6日(木曜日)午前3時7分に、北海道胆振地方中東部を震源として最大震度7を記録する大きな地震が発生し700人を超える死傷者や一部損壊を含めると6,000軒近い建築物が被害を受けるという大きな被害がもたらされてしまいました。

当協会では9月19日に開催された役員会の席上において協議の結果、(一社)北海道環境保全協会に対し義援金を拠出することを決定し、その金額を従来に倣い協会予算の「緊急災害活動費」より30万円とすることを決議いたしました。そして翌週の9月26日(水曜日)に秋山理事長、池田副理事



長の2名が義援金を携えて札幌市にある同協会事務局が入っている協業組合 公清企業を訪問いたしました。

事務局への道中、札幌市内でも液状化被害の大きかった清田区里塚地区を通過しましたが、道は大きくうねり、茨城県も被災地となった平成23年の東日本大震災や、やはり義援金を拠出した平成28年の熊本地震を思い出さる状況を目の当たりにしました。

札幌市中央区の北海道環境保全協会事務所に着すると、原田会長、坂下事務局長のお二人が在局されていて、地震発生時からの貴重なお話を伺うことができ、札幌市内で地震に起因して発生した停電により商品とならなくなった商店や飲食店から出る生鮮食品等の廃棄処分に関わったり、下水道管きよ内の被害状況を確認するための管内カメラ等の業務が多くなり、また、支援活動についてもパッカー車の派遣等を協会として北海道庁と協議をしながら実施している旨のお話を、資料を拝見しながら伺うことができました。特に被災地域の厚真(あつ

ま)町、安平(あびら)町、むかわ町では、災害廃棄物が大量に発生し、それらの廃棄物集積場を雪が降る11月中旬までには片付けなくてはならず、北海道ならではの時間的な制約もあるとのことでした。

また、翌27日(木曜日)には、被災地に近く、以前に青年部活動の際にもお世話になったことがあり、震災当初から現地入りして各種調整をされた富良野市にある(一社)北海道環境保全協会 副会長の高橋様が代表を務められる(株)ふらの衛生社を訪ね、災害廃棄物は一般廃棄物であるため、その処理を行う業者は市町村の許可のもとにあり、市町村によって緊急時の市外業者受入れについて温度差があり、その壁を取り払い北海道庁を動かしていくための努力等、貴重なお話を伺いました。

茨城県においても今後考えられる巨大地震等の災害発生時の対処等、非常に参考になる話をいただきました。急な訪問にも関わらず、貴重なお時間を割いてご説明いただきました(一社)北海道環境保全協会 原田会長、高橋副会長、坂下事務局長の皆

平成30年9月28日

一般社団法人 茨城県環境保全協会

秋山理事長様

池田副理事長様

一般社団法人 北海道環境保全協会

会長 原田利明

ご支援へのお礼

今回の北海道胆振東部地震に際しましては、わざわざご来道してお見舞いいただき、更には多額の義援金もいただき、ありがたく心から厚くお礼申し上げます。

今月6日早朝(3時8分)に発生した北海道胆振東部地震は、厚真町で震度7を記録し、その直後に北海道全域が停電するという形になり、多くの犠牲者が出ました。当協会々員の従業員が1名土砂崩れに巻き込まれて亡くなりました。非常に残念なことでした。全停電は2日間程度では回復し、現在は各種被害部分の復旧工事を急ぎ進めていますが、本復旧は来年になる見通しです。

当協会は、北海道との災害支援に関する協定を締結していないことから、北海道産業廃棄物協会からの依頼という変則的な流れで、災害廃棄物の分別、清掃工場やリサイクル施設への運搬をしています。冬を控え、早い段階での仮置場の整理を目指しています。いただきました義援金につきましては、全道各地から集まってきた会員の復旧活動等に有効に活用させていただきます。

この度の温かいご厚情に対し、略儀ながら書中をもってお礼申し上げます。

貴協会の皆様のますますの発展をお祈り申し上げます。

様には大変お世話になり、ありがとうございました。心から御礼を申し上げます。

なお、今回の義援金に対しましては（一社）北海道環境保全協会より丁寧な礼状を頂戴しておりますので、皆様にご披露申し上げます。

9月度定例役員会の開催

9月19日（水）午前10時より水戸市内平須町の協会事務所において9月度の定例役員会を開催いたしましたので、当日の議事内容等についてご報告いたします。

出席役員

秋山理事長・池田・岡島副理事長 小林・佐野・石井・犬塚・小沼理事（理事15名中8名出席）
露崎・佐藤監事

協議事項

- ① 浄化槽の清掃に関する講習会について
10月6日（土）茨城県開発公社にて開催する浄化槽の清掃実務に関する講習会の講義内容や、当日の司会進行、役割分担について協議しました。講義内容は「アムズ浄化槽の機能・構造・保守点検及び清掃のポイントについて」と「安永プロワ商品・構造・メンテナンスについて」です。その他、（株）日環商事様・（株）モリタエコノス様・不二商会（株）様の展示が行われます。
- ② 協会だよりについて
協会だより9月号の内容について広報委員会より提案があり承認されました。県内全ての市町村、県の関係機関に無料配布しています。もし、ご希望の関係者の方がいましたら当協会までご連絡下さい。
- ③ 協会のホームページについて
協会のホームページの更新について協議し、別業者からの見積もり等が提示され、引き続き検討していくことになりました。詳細が決定しましたら報告させていただきます。
- ④ 協会事務所コピー機について
リコーよりクリアファイル印刷対応のコピー機の導入について提案があり協議しました。新

しいコピー機はクリアファイル等への印刷も可能となり、リース料等のランニングコストは現在よりも高くなるものの、印刷物を協会のPRや会員企業へ格安で販促ツールとして提供も可能であるなど、多くのメリットが考えられるため、継続して審議することとなりました。

平成30年度秋季研修会（関東地区協議会）について

日本環境保全協会関東地区協議会主催の秋季研修会への参加者を募り決定しました。参加者は、秋山理事長・池田・岡島副理事長・小林・早川理事及び会員企業（北茨城企業衛生株式会社）より1名の計6名です。10月18日、群馬県「伊香保温泉ホテル小暮」で開催されます。

北海道地震に対する義援金拠出について

9月6日に発生した北海道地方の地震について、義援金の拠出を協議し、前例に倣い緊急災害活動費より30万円を拠出し、理事長及び随員1名で届けることと決議しました。

報告事項

- ① 2018年霞ヶ浦夏まつりについて
霞ヶ浦環境科学センターで開催された夏祭りについて、会員の参加者18名 会場来客者数4800名（主催者発表）と報告がありました。協会では浄化槽清掃のPRを兼ねて缶バッジ等の配布を行い、家族連れの来訪が多く見られ、これからも積極的に参加していくことを確認しました。
- ② 廃棄物収集運搬車の低燃料化事業の公募について（お知らせ）
環境省では、地球環境と循環型社会の形成に資することを目的として、廃棄物の収集運搬の用に供する先進環境対応型ディーゼルトラックの導入に要する経費に対して、補助金を交付する事業を実施することとなり、（一社）日本環境保全協会より概要の連絡がありましたので、会員の皆様へもご連絡します。

詳細は同封の書簡をご覧ください。以上の内容で役員会を行い、正午近くに閉会いたしました。

青年部短信



れ、そのひとつひとつまで取りこぼしなくきれいに清掃していました。夏の間、明け方からビーチの端から端まで観光客が来る前に清掃を行うそうです。このような努力により多くの観光客を呼んでいるのだなと感じました。



これから、人口減少により仕事量が減っていく中で、新しい仕事を発見していく大切さを、（有）クロサワクリーンサービスの代

平成30年9月15日（土）大洗サンビーチにて、青年部による清掃作業をおこないました。

当日は、雨のなかでしたが、（有）クロサワクリーンサービスのご協力により、ビーチクリーナーでの清掃作業を行って頂きました。ここ大洗サンビーチでは、毎年海水浴シーズン中に毎週行



っている清掃作業ですが、今回は、9月という事もあり、空き缶などの一般ゴミよりは、貝や海藻など海産物が多く見受けら

表取締役であり、当協会理事の小林社長から、青年部一同貴重なお話を伺わせていただきました。青年部では、現在会社見学を行っています。自分の会社で足りないものを、プラスになるものを、自分の目で見て将来のことをみんなで感じ話しあっており、この見学会も小林社長から他社見学の重要性をご助言いただいております。

また、今回ビーチの近くにビーチバレーのコートがあり国体の会場にもなるのですが、そのコートも（有）クロサワクリーンサービスが整備したものだそうです。コートの中の砂は柔らかくフワフワになるように、一度重機で耕して、そこに仮設トイレの設置も一緒にセットで受注し、ひとつのことから仕事を関連して広げていく姿は、非常に勉強になりました。

今回貴重な経験をさせていただきました（有）クロサワクリーンサービスの小林社長及び社員の皆様には心から御礼申し上げますとともに、今後の業務に役立てていくことをお約束申し上げます。

（青年部長）